✿いせまめ通信

～高須新聞店通信　お伊勢さんを知ろう企画～

発行：中日新聞
伊勢市南部店
高須新聞店Ⓣ
〒516-0014
伊勢市楠部町乙422-1
☎0596-24-1720
fax0596-24-1728
第15号
平成25年9月22日

たーくんの「いせ豆知識」

第10話「神様のお引越し・遷御」

クライマックス！遷御の儀

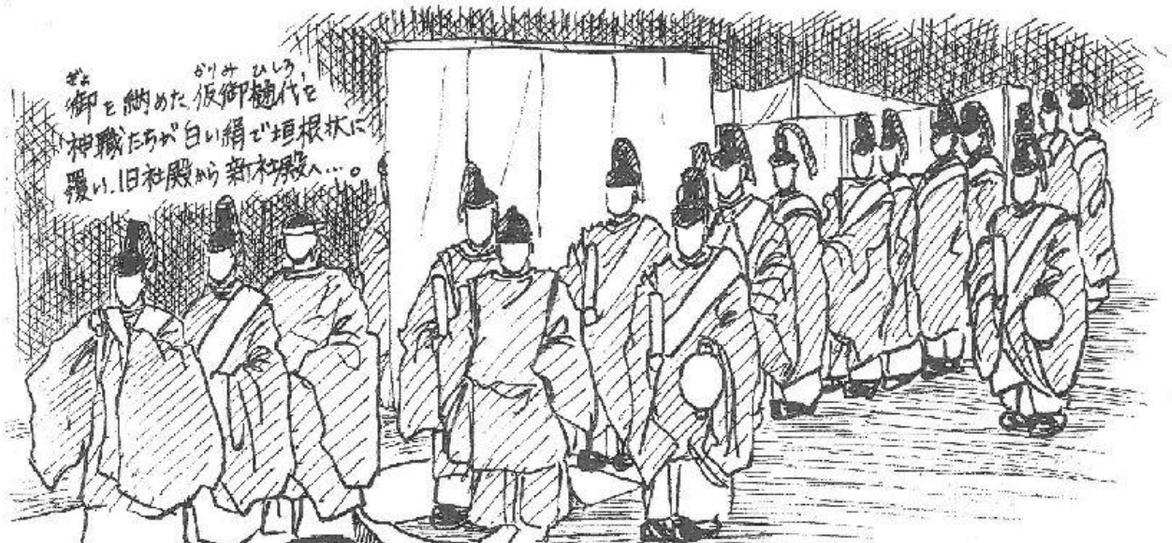
遷御は神域内で厳かにおこなわれ、関係者以外は見ることはできません。

当夜は、勅使がご参向になり、祭主以下神職が奉仕し、全ての灯りが消された浄闇の中、おごそかに斎行されます。

御（ご神体のこと）は仮御樋代（御樋代は、御を納める木製の容器のこと）に納められ、神職たちが白い絹で垣根状に覆います。

式次第は、古代からほとんど変わることはないそうです。

真新しい内宮・外宮の再宮に参拝できるのは10月6日朝5時からです。



✿こんにちは 高須新聞店です

いつもご愛読ありがとうございます

お白石も終わり、いよいよ遷御の儀が行われようとしています。暗闇の中、御（ご神体）を白い絹で覆い隠してお引越しをする様子は、実に神秘的ですね。

外宮の勾玉池にある「せんぐう館」では、「遷御の儀」の様子を人形で再現してあり、神宝の製作工程なども見ることができます。

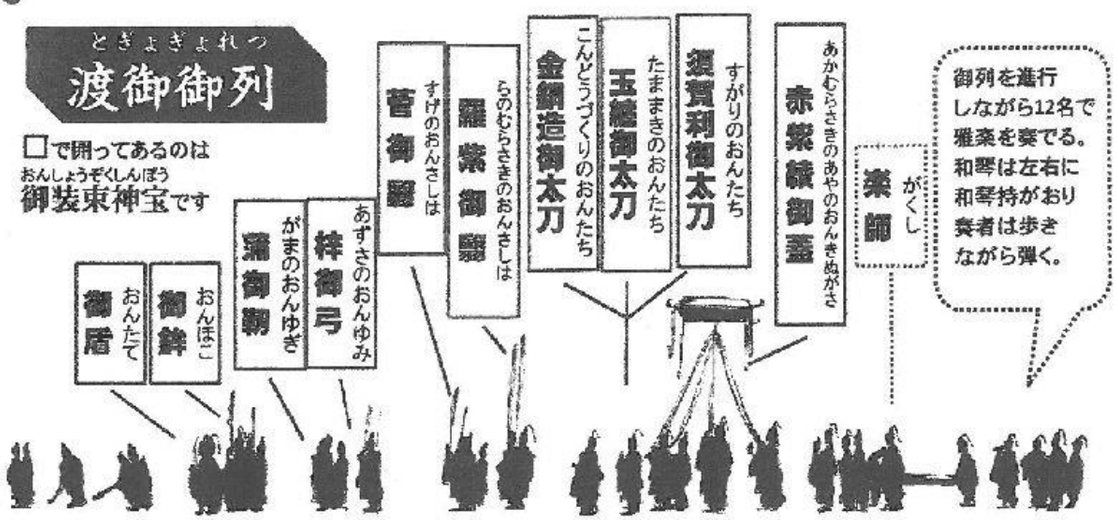
去年と展示物が入れ替わっている部分もありますので、この機会に行ってみてはいかがでしょうか（*^_^*）

＊高須新聞店ホームページ＊
「高須新聞店」で検索♪

☞次号は10月27日㈰発行予定。お楽しみに

渡御御列

□で開けてあるのは御装束神宝です



ご神体のことを御（ぎょ）という。
御列の中心となる御は絹垣で囲まれ、その前を行障が進む。
行障は絹の帳（とばり）に捧持用の木具を備えたもので、
絹垣は絹の幕状の障囲の具で御を囲み、その外側から権禰宜が持参する。